

大地震に備えて 家の中の安全対策、

あなたはできていますか？

阪神・淡路大震災では亡くなった方(神戸市内)の8割以上は家屋の倒壊によるもので、ケガをした方の半数近くは家具の転倒によるものでした。

被害を少しでも軽減するためには、家具の転倒防止が極めて有効です。

○家具類の転倒・移動防止

ダンスや本棚はL型金具や転倒防止器具でしっかり固定する。
二段重ねの家具はつなぎ目を金具で連結しておく。
食器戸棚は棚板に滑りづらい布やシートを敷いておく。
扉が開かないように止め金具をつける。

家具類の転倒を
防ぎましょう！！



○出入口や通路に物を置かない

安全に避難できるように、通路や出入口には、物を置かない。

○家の中に家具類を置かない安全なスペースをつくる

家の中の逃げ場として安全な空間を確保する。
空間スペースがつかれない場合は、家具類の配置を考え安全な工夫をする。

○ガラスの飛散防止

窓や食器棚、本棚などのガラスには飛散防止の透明フィルムを貼る。

家具転倒防止ボランティア

相模原ボランティア協会では「災害の前にできること」として家具の転倒防止対策のお手伝いを行っています。

対象 障害や高齢のため、自分で家具転倒防止対策ができない人

内容 使用頻度の高い居間や寝室などの現場確認を事前に行い、どのように固定し、費用がどの位になるのかをご相談した上で、施工いたします。

費用 固定用の金具や針金等の材料実費

連絡先 NPO法人 相模原ボランティア協会 ☎042-759-7982

電話受付時間 月曜日～土曜日(祝日以外) 午前10時～午後3時